＜期末決算補足説明資料＞

２０２０年３月期

決算概要

2020年5月20日

日本タングステン株式会社

■経済環境

日本タングステン株式会社

海外経済

・米中貿易摩擦長期化の影響により中国経済が減速

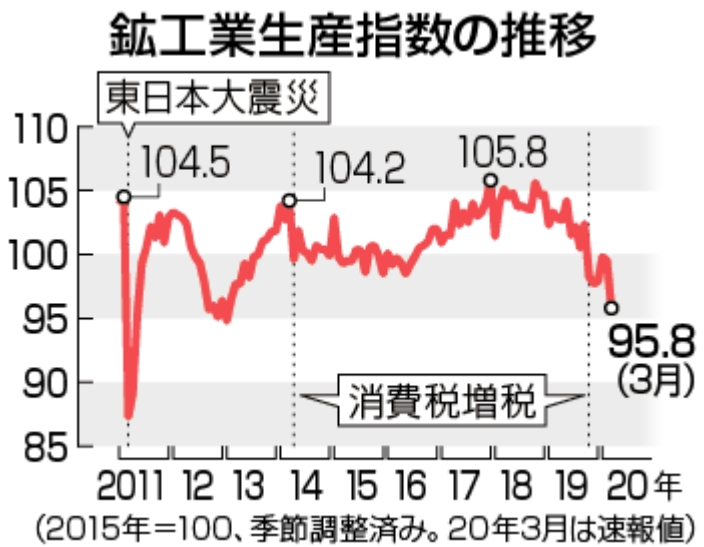
・世界的な製造業の不振・貿易縮小等もあり、アメリカ及びヨーロッパ経済も減速傾向が強まった

国内経済

・景況感は徐々に悪化

・消費税増税の影響により個人消費や企業の設備投資が伸び悩んだ

・新型コロナウイルスの世界的流行に伴う経済活動の停滞により、景気の下振れリスクが高まり、今後も予断を許さない状況となっている



（出典：時事ドットコム）

■当社グループの業績等

日本タングステン株式会社

●損益の状況（連結）

（単位：百万円）

	2019年３月期	2020年３月期	対前年比 増減額（増減率）
売上高	12,651	11,607	Δ1,044 （Δ8.3%）
営業利益	1,029	502	Δ526 （Δ51.2%）
経常利益	1,105	671	Δ434 （Δ39.3%）
親会社株主に帰属する当期純利益	831	598	Δ232 （Δ28.0%）

◆売上高：　減収

ハードディスクドライブ用磁気ヘッド基板、抵抗溶接用電極が堅調も、NTダイカッター、治工具製品及びEV用接点が低調となり、全体で減収となった。

◆損　益：　増益

売上高の減少が大きく減益

●財務の状況（連結）

（単位：百万円）

科目	2019年 3月期	2020年 3月期	前連結会計年度末比増減額
総資産	16，392	16，140	△252
負　債	6，370	6，154	△215
純資産	10，022	9，986	△36

◆総資産：前期末比、252百万円減少

（流動資産は増加、固定資産は減少）

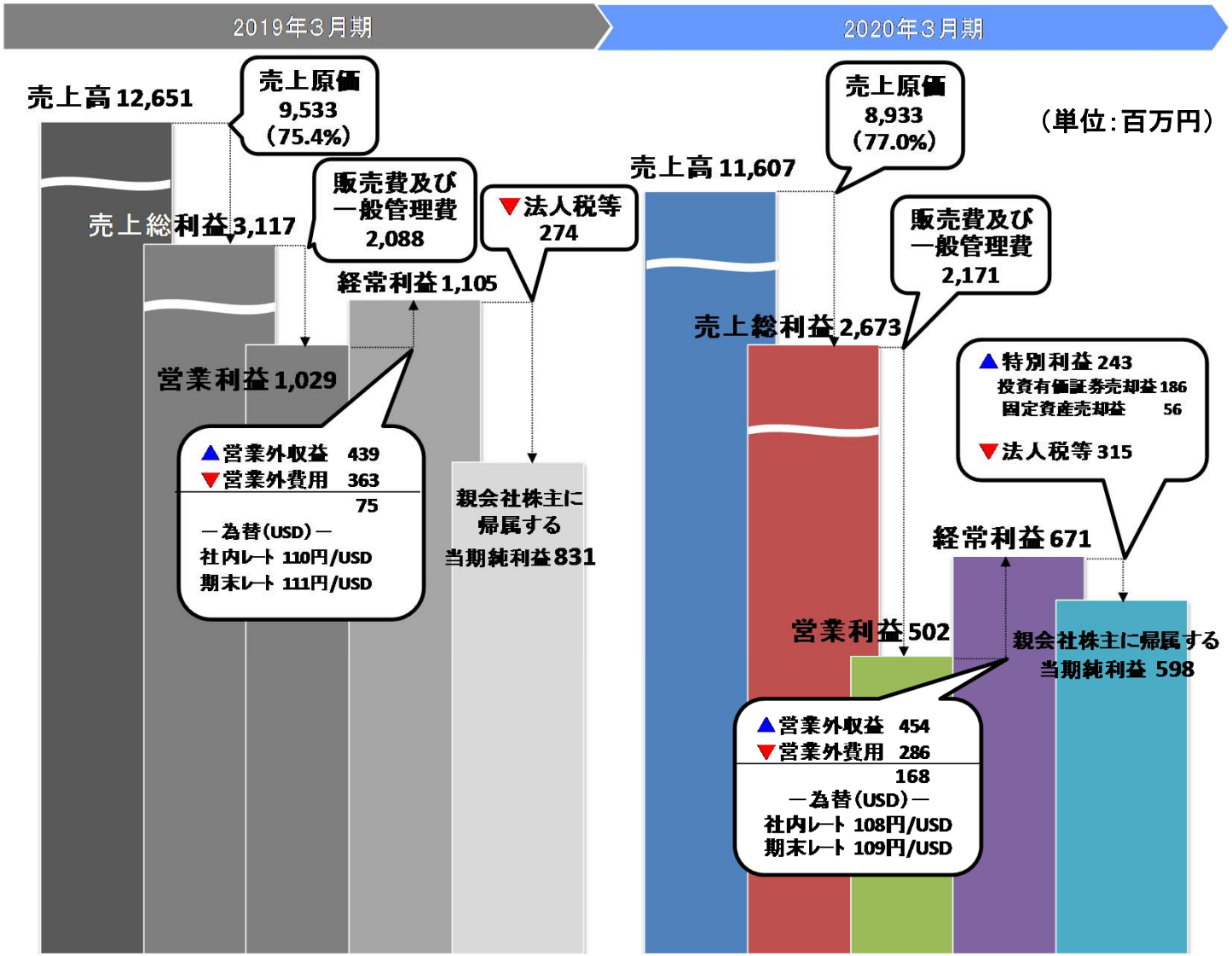
◆負　債：前期末比、215百万円減少

（流動負債、固定負債ともに減少）

◆純資産：前期末比、　36百万円減少

■損益の概況（連結）

日本タングステン株式会社



項目	要因
売上総利益	売上高の減少により減益
営業利益	品質改善活動、TPS（トヨタ生産方式）活動による生産性向上に取り組むも、売上高の減少が響き、減益
経常利益	賃貸不動産の計画修繕に伴う費用が減少するも、営業利益の減少により減益
親会社株主に帰属する当期純利益	投資有価証券の売却益、遊休地の売却益を特別利益に計上するも営業利益等の減少により減益

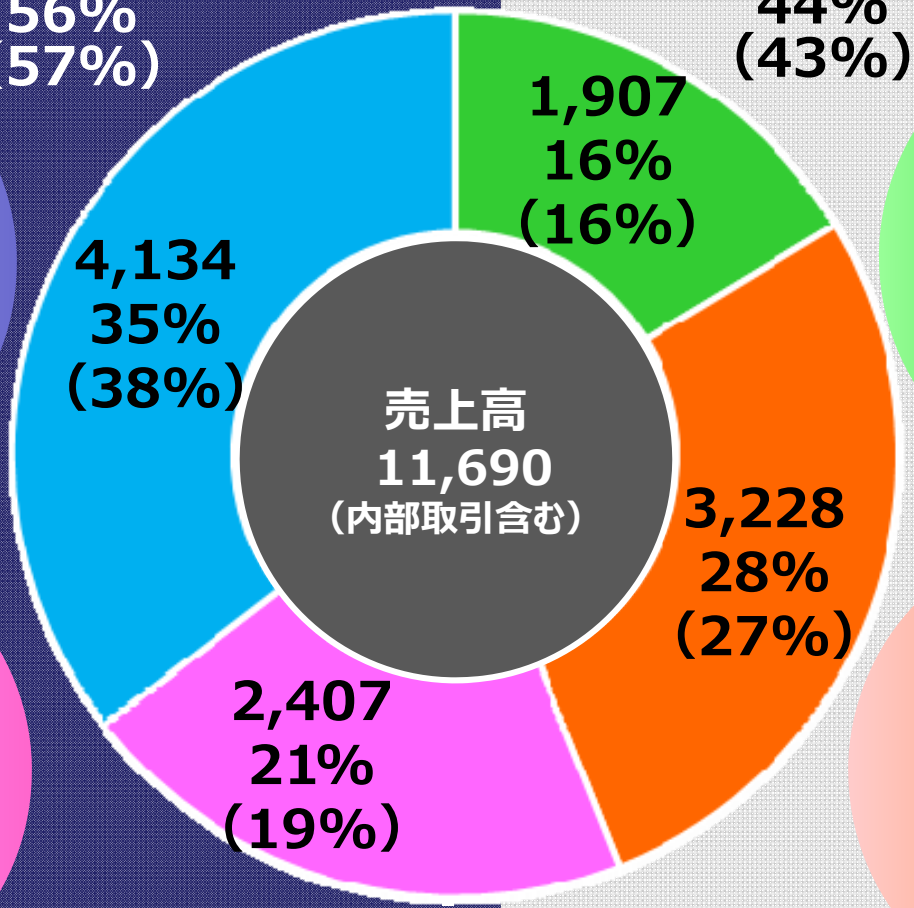
■事業部別売上高の状況

日本タングステン株式会社

2020年３月期　セグメント別売上高

機械部品事業　6,542　56%　(57%)

電機部品事業　5,135　44%　(43%)



超硬合金製品

セラミック製品

金属材料製品

電気・電子材料製品

単位：百万円

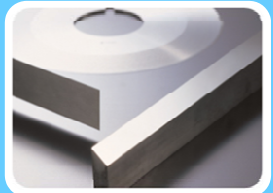
(　) は前年同四半期の占有比率

■事業部別主要製品の状況

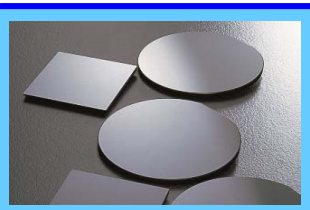
日本タングステン株式会社

機械部品事業

衛生・医療市場：NTダイカッター
海外向けが顧客の設備投資の抑制等により減収



産業機器市場：治工具製品
中国市場での液晶関連市場の需要減により減収



半導体・電子部品市場：HDD用磁気ヘッド基板
データセンター向け大容量HDDの需要好調により増収

	2019年3月期	2020年3月期	対前年同期比
売上高 （百万円）	7，270（100%）	6，542（100%）	△728 （△10.0%）
営業利益 （百万円）	1，039（14.3%）	498（7.6%）	△541 （△52.1%）

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■事業部別主要製品の状況

日本タングステン株式会社

電機部品事業

自動車市場：抵抗溶接用電極及びEV用接点
・抵抗溶接用電極は、需要の増加により堅調に推移
・EV用接点は、米中貿易摩擦の影響を受け中国市場で減収

衛生・医療市場：カテーテル用タングステンワイヤー製品
カテーテル治療の増加を背景に堅調に推移

照明・その他市場：タングステンワイヤー製品
照明器具のLED化の伸展により減収

損益：タングステンワイヤー製品生産工程の一部OEM化に伴い、材料切替えに一定の期間を要するため、顧客との長期契約に基づく自家製素材の在庫生産もあり、増益

	2019年3月期	2020年3月期	対前年同期比
売上高 （百万円）	5，421（100%）	5，135（100%）	△286 （△5.3%）
営業利益 （百万円）	545（10.1%）	589（11.5%）	44 （ 8.1%）

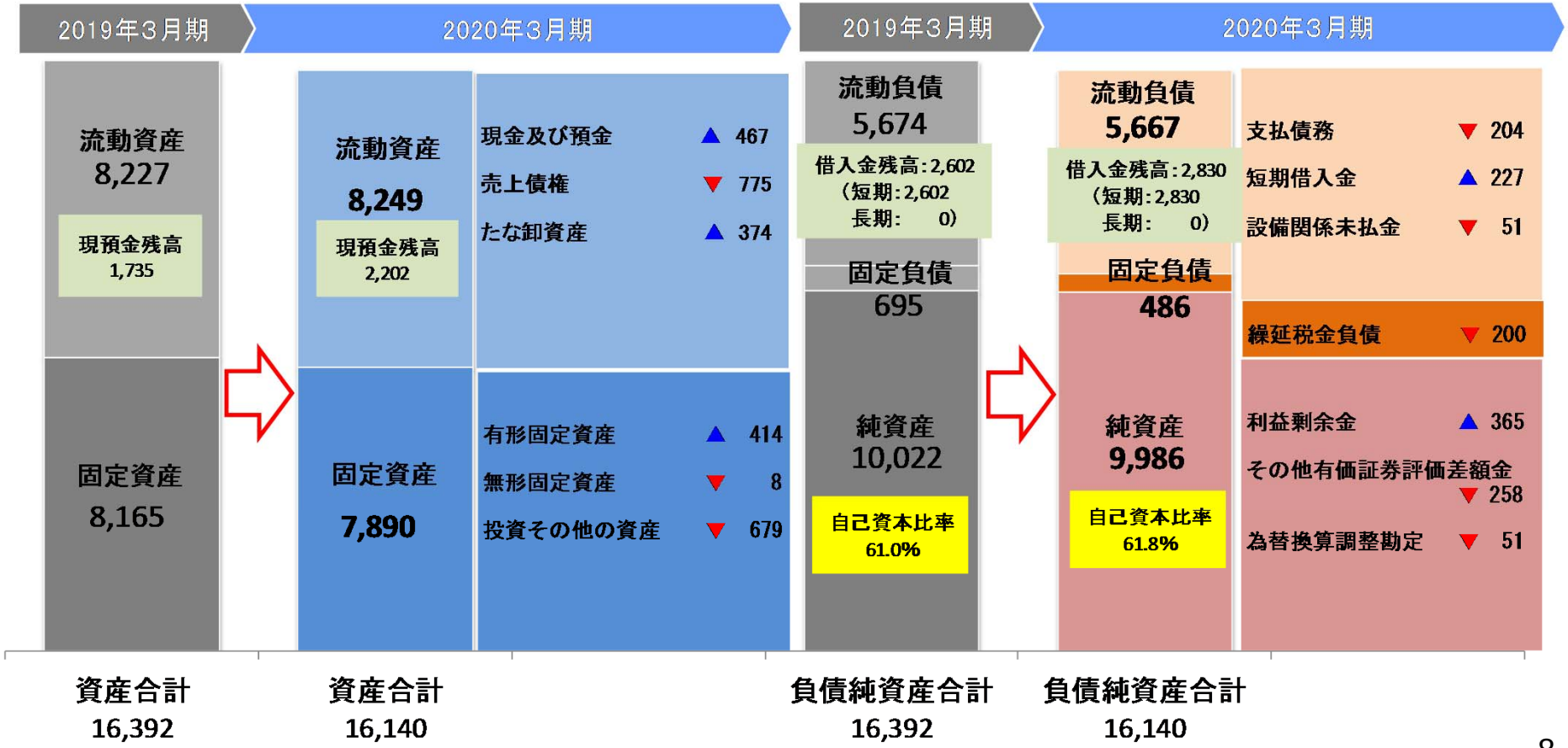
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■財務の状況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）

科目	2019年3月期	2020年3月期	対前年比
総資産	16，392	16，140	△252
負　債	6，370	6，154	△215
純資産	10，022	9，986	△36

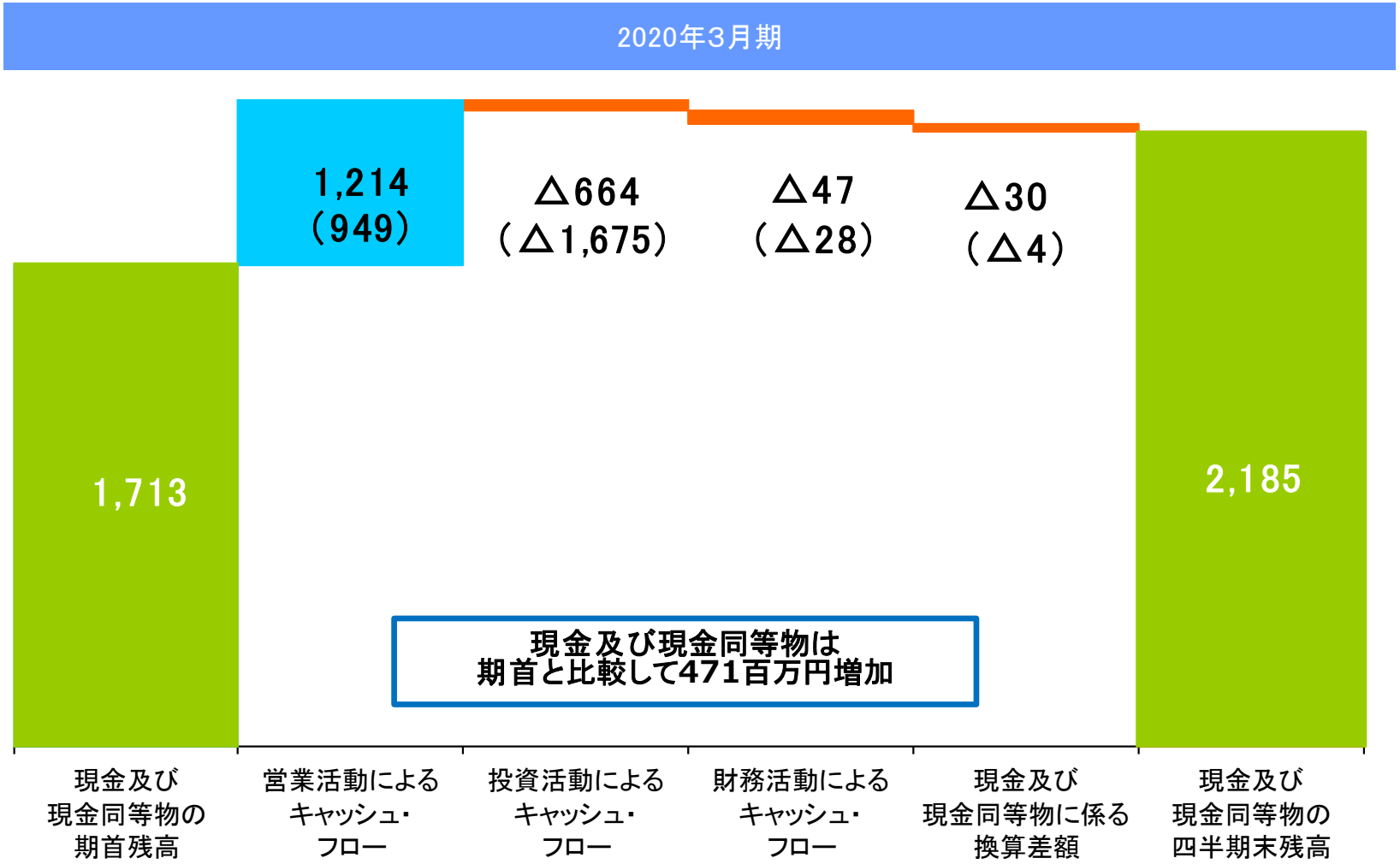


■キャッシュ・フローの状況（連結）

日本タングステン株式会社

売上債権の回収や政策投資株式売却・遊休土地売却等で営業CFが増加、期末残高も厚めに保持

（単位：百万円）



※（　）は2019年3月期の金額

■業績の推移

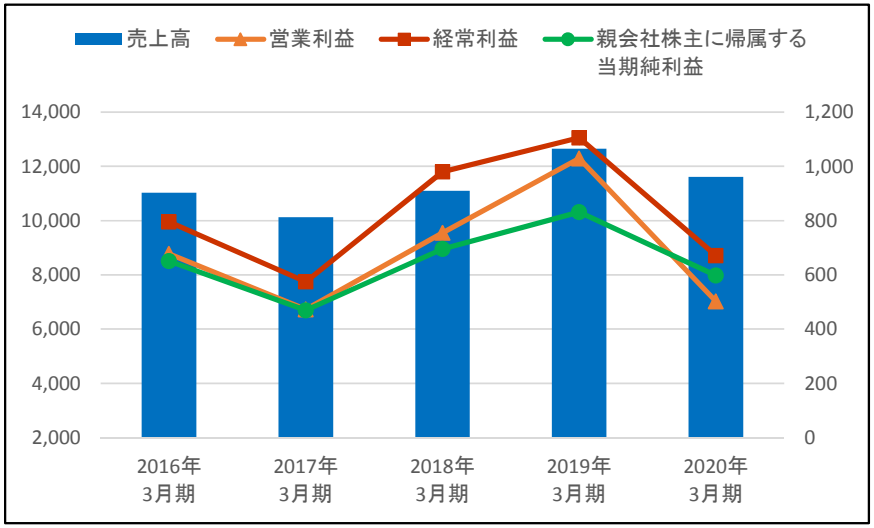
日本タングステン株式会社

■経営成績（連結）

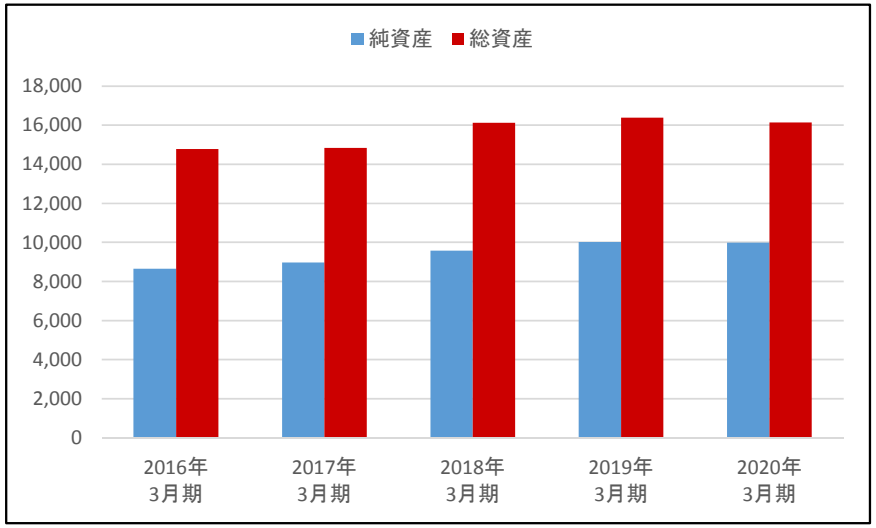
（単位：百万円）

区　分	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高	11,022	10,124	11,102	12,651	11,607
営業利益	678	473	755	1,029	502
経常利益	795	575	980	1,105	671
親会社株主に帰属する当期純利益	651	469	696	831	598
純資産	8,652	8,978	9,578	10,022	9,986
総資産	14,777	14,836	16,118	16,392	16,140

■売上高・経常利益・当期純利益



■純資産・総資産



■主な経営指標

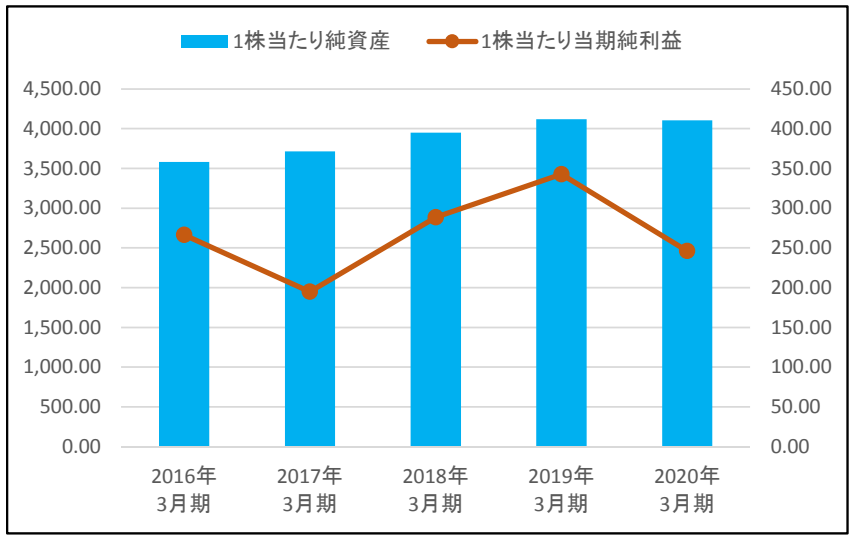
日本タングステン株式会社

■経営指標（連結）

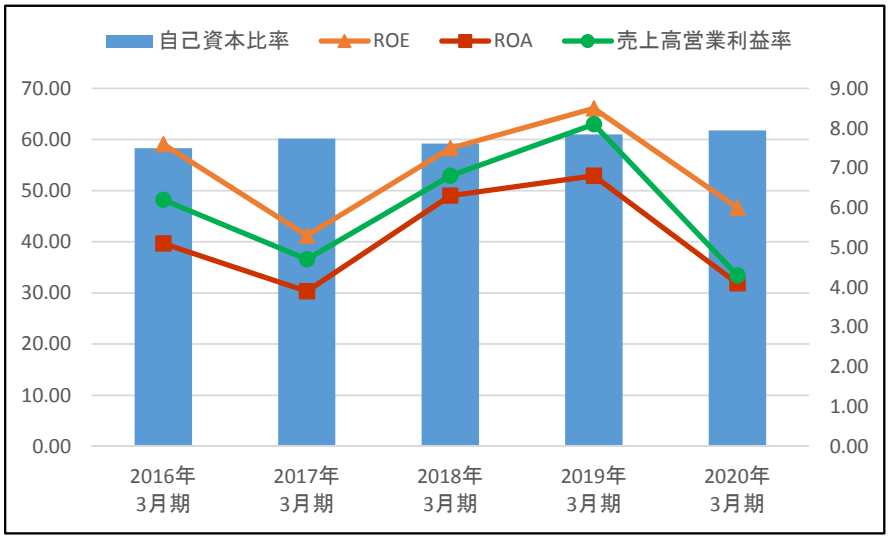
区　　分	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
1株当たり純資産（円）	3,582.89	3,715.00	3,949.26	4,118.69	4,104.36
1株当たり当期純利益（円）	266.45	195.02	288.51	342.80	245.97
自己資本比率（%）	58.30	60.20	59.20	61.00	61.80
自己資本利益率（ROE）（%）	7.60	5.30	7.50	8.50	6.00
総資産経常利益率（ROA）（%）	5.10	3.90	6.30	6.80	4.10
売上高営業利益率（%）	6.20	4.70	6.80	8.10	4.30

※2017年10月１日付で普通株式10株につき１株の割合で株式併合を実施している。2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を計算している。

■１株当たり純資産額・１株当たり当期純利益金額



■自己資本比率・ＲＯＥ・ＲＯＡ・売上高営業利益率



■期末配当

日本タングステン株式会社

当社は株主の皆様への利益還元について、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な財務体質の強化等を勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めております。 また、一株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めます。

上記の配当方針及び今後の設備投資等を勘案し、期末配当金は1株当たり30円とする。これにより中間配当金（1株当たり40円）を合わせ、年間配当金は1株につき70円となる。
また、2020年2月13日から3月31日の期間に自己株式9,700株を取得価額18百万円で取得した。この結果、年間配当金と自己株式取得を合せた総還元性向は31.5%となる。
なお、期末配当金の支払開始日は2020年6月9日となる。

	2017年度	2018年度	2019年度
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円 696	百万円 831	百万円 598
中間配当金	円 銭 3 00	円 銭 40 00	円 銭 40 00
期末配当金	円 銭 50 00	円 銭 55 00	円 銭 30 00
配当性向（連結）	27.7%	27.7%	28.5%

※ 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施している。
2017年度期末配当金については、株式併合後の金額を記載。

■2020年度の業績及び配当予想について

日本タングステン株式会社

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、今後の世界経済は先行きが見通せない状況となっている。当社グループが注力市場と位置付けている衛生・医療、半導体・電機部品、自動車等の各市場も一部の工場が操業を停止する等、経済活動に大きな影響を及ぼすことが予想される。
以上により、次期の業績予想は、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、第2四半期（累計）、通期ともに未定とし、直近の第1四半期のみ公表する。なお、第2四半期（累計）、通期の業績予想は、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表する。

次期の配当予想は、現時点では通期の業績予想が困難であるため未定とする。今後、予想が可能となった時点で速やかに公表する。

		第１四半期	通期	前第１四半期実績	増減率
連結	売上高（百万円）	2,500	未定	2,811	△11.1%
	営業利益（百万円）	△30	未定	154	—
	経常利益（百万円）	10	未定	205	△95.1%
	親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	0	未定	129	—
	１株当たり当期純利益（円）	0.00	未定	53.16	—

		第１四半期	通期	前第１四半期実績	増減率
個別	売上高（百万円）	2,200	未定	2,693	△18.3%
	営業利益（百万円）	△20	未定	152	—
	経常利益（百万円）	20	未定	404	△95.1%
	当期純利益（百万円）	10	未定	337	△97.0%
	１株当たり当期純利益（円）	4.12	未定	138.93	—

■ご注意

日本タングステン株式会社

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。